

犬山城 唐破風（からはふ）

犬山城の正面にある破風は、最も顕著な特徴の1つです。波状の曲線は、矢を放す準備ができた引き弓に似ています。東アジアに独特なスタイルで、城、仏教寺院、神社に限られています。唐破風は1537年に犬山城が建てられた当初のデザインには含まれていないと伝えられています。成瀬正成（1567-1625）が設置し、城主在任期間に3階と4階も増築しました。唐破風は、建物に威信の要素を追加することを意図しており、権威の象徴であることを示しています。